

## 想定

64歳 男性  
 突然の後頭部痛で発症。嘔気もあり改善ないため救急要請。  
 意識消失なし。  
 高血圧の指摘を受けたが未治療。

## バイタルサイン

心拍数	87
血圧	168/88
SpO <sub>2</sub>	100
呼吸数	11

## 患者所見

自発的に開眼している。  
 自発語や合目的動作はなくてよい。質問・指示されたことに対してははっきりと正確に応じる。

Jcs 0(or1)

開眼  
E4

自発的に開眼。検者と視線が合う

Gcs E4V5M6

言語  
V5構音障害なく話す  
質問に正確に答える

Ecs 1

運動  
M6

命令に正確に従う

## 425 失語・みぎ麻痺

## 想定

67歳 男性  
40分前に発語困難と右上下肢脱力で突然発症した。  
心房細動で服薬中。

## バイタルサイン

心拍数	80
血圧	165/80
SpO <sub>2</sub>	100
呼吸数	13

## 患者所見

失語のために、言葉を発することができず、指示動作もできないが、  
評価者と目を合わせ、質問に対してうなずきながら答えようとする。  
右片麻痺があるために、右上下肢の運動はせず、右上下肢への痛み刺激にも反応しない。

Jcs 3

開眼  
E4

自発的に開眼。検者と視線が合う

Gcs E4V2M5

言語  
V2自発的にも、質問に対しても、理解できない発声があるが、  
言葉になっていない

Ecs 2

運動  
M5指示は聞こえている様子だが動作しない  
胸骨や顔面に対しての痛み刺激では左手で払いのける  
左上下肢の痛み刺激で引っ込める(M4相当) 右は無反応

## 想定

57歳 男性

4日前に左片麻痺で発症。脳梗塞の診断で加療中であったが、意識障害が進行したために転院搬送。

フェイスマスクで酸素3L使用中だが舌根沈下ぎみとなり、用手気道確保を実施。

## バイタルサイン

心拍数	84
血圧	188/98
SpO <sub>2</sub>	100
呼吸数	8

## 患者所見

痛み刺激に対する反応のみの症例

左麻痺あるため、右半側への刺激に対して右半側での運動で反応する

痛み刺激に対する反応は、「顔をしかめながら」「サッと動かす」。上肢を引っ込める際には脇をあけて！！

Jcs 200

開眼  
E1

痛み刺激にも開眼しない

Gcs E1V2M4

言語  
V2

痛み刺激に対して、わずかにうなり声をだす

Ecs 100W

運動  
M4

命令には従わない 左上下肢への痛み刺激では無反応  
右上下肢の痛み刺激で顔をしかめ引っ込める  
胸骨や顔面に対しての痛み刺激で顔や体幹を少し動かす

## 112 刺激で除脳

A-4

## 想定

59歳 男性

新聞を読んでいるときに突然、激しい頭痛が出現。

その後反応がないとのことで救急要請。

高血圧に対し降圧薬内服中。

呼吸は失調性で4回/分、SpO<sub>2</sub>:87%であり、補助換気を開始。

## バイタルサイン

心拍数	116
血圧	238/88
SpO <sub>2</sub>	100
呼吸数	10

## 患者所見

痛み刺激に対してゆっくり四肢を動かし除脳姿勢をとる(痛み刺激に手をすばやく引っ込めるときとは対照的に)。

上肢は伸展、前腕は回内。股関節を内転、膝は伸展、足は底屈(つま先内向きで両足を背伸びするように伸ばす)。

体を弓なりにして背中が浮いてもよい。

Jcs 200

開眼  
E1

痛み刺激にも開眼しない

Gcs E1V1M2

言語  
V1

痛み刺激にも発声しない

Ecs 200E

運動  
M2命令には従わない  
痛み刺激に両腕を体側でゆっくりと伸展する(除脳姿勢)  
痛み刺激をやめると徐々に戻る

## 想定

59歳 女性

銭湯の休憩室で閉店時間になっても眠っていたため店員が声をかけたところ、反応がおかしいとのことで救急要請。

付き添いはおらず、既往歴は不明。

## バイタルサイン

心拍数	90
血圧	140/70
SpO <sub>2</sub>	97
呼吸数	14

## 患者所見

呼びかけで覚醒するが、何も刺激がなければ再度眠り込む

質問・指示には、肩を叩きながら or 大きな声で何度も繰り返された場合にのみ応じ、刺激を伴わない質問や指示には応じない(開眼し「うーん…」のみ)

Jcs 10

開眼  
E3

普通の呼びかけで開眼する  
(刺激がなくなると15秒以内に目を閉じる)

Gcs E3V4M6

言語  
V4

刺激なしでの質問には、開眼して「うーん…」(V2相当)  
刺激されながら質問された場合のみ、  
「今日の日付は…」など応答はするが、やがて眠る

Ecs 10

運動  
M6

痛み刺激に対しては払いのける(M5相当)  
刺激されながら指示された場合のみ、  
単純な指示動作を行える

A-6

## 335 ひだり不全麻痺

## 想定

72歳 男性

食事中に意識を失って倒れたため救急要請。

発見時には左向きの共同偏視があったが、現在偏視は改善。

もともと麻痺はなかったが、右とくらべ左手足の動きが弱い。

十年ほど前、転落により脳挫傷と右肩関節脱臼骨折を受傷。

## バイタルサイン

心拍数	114
血圧	158/72
SpO <sub>2</sub>	96
呼吸数	12

## 患者所見

大声で呼びかけるとゆっくりと目を開け、刺激をやめると徐々に(15秒以内)目を閉じる。

左上下肢は完全麻痺ではなく、痛み刺激にも反応するが、動きには左右差があり左が弱い。

Jcs 20

開眼  
E3大声での呼びかけでかろうじて開眼する  
(刺激がなくなると15秒以内に目を閉じる)

Gcs E3V3M5

言語  
V3刺激なしでの質問には、開眼して「うーん・・・」(V2相当)  
刺激されながら質問された場合のみ、  
「はいはい・・・」「うるせえ」などと発語するが会話はできない

Ecs 10

運動  
M5命令には従わない 痛み刺激には顔をしかめつつ  
上下肢の痛み刺激で引っ込める(M4相当)  
胸骨や顔面に対しての痛み刺激では右手で払いのける

A-7

156 めまい

## 想定

## バイタルサイン

73歳 男性

突然めまいと後頭部痛が出現し、起き上がることができず救急要請。  
 高血圧があり内服中。

心拍数	108
血圧	236/112
SpO <sub>2</sub>	100
呼吸数	12

## 患者所見

声をかけられる前から、閉眼したまま「頭痛い・気持ち悪い・ぐるぐるする」などと繰り返ししゃべりつつ、後頭部に手をやったり、上着のボタンをはずすなどする。(無刺激でも、自発的に発語と合目的動作があることを表現) めまいと頭痛のせいで、やや不穏ぎみに演じてもよい。

Jcs 100or0?

開眼  
E1かたくなに開眼を拒否する  
痛み刺激をしたとしても開眼しない

Gcs E1V5M6

言語  
V5自発的な発語あり  
質問にも正確に答える

Ecs 1

運動  
M6自発的な合目的動作あり  
命令に正確に従うが、開眼の指示のみ拒否する

## 446 大声聞くまで閉眼

A-8

## 想定

32歳 男性

脚立(きやたつ)の上で作業をしていた。物音に気付いた同僚が駆けつけると、床であおむけの状態。呼びかけに対し、数分ほどは反応なかったが、徐々に目を開けるようになったとのこと。

頸椎保護を実施。

## バイタルサイン

心拍数	92
血圧	126/84
SpO <sub>2</sub>	98
呼吸数	12

## 患者所見

評価開始直後は、閉眼・無言・動作なし。普通の呼びかけに対して閉眼のまま返事。

大きな声で呼びかけると(又は、開眼を指示されると)、まぶしそうに目を開ける。

以後は刺激しなくても開眼したままで、見当識障害があることと、やや反応が鈍い以外には特に問題なし。

Jcs 2

開眼  
E4

普通の呼びかけでは返事するのみだが、大きな声での呼びかけ(又は体を揺さぶる)で開眼し、以後は刺激がなくても開眼しつづける

Gcs E4V4M6

言語  
V4

見当識に関する質問に、思い出すそぶりで答えようとするが「ちょっと、わかりませんねえ」など、具体的な返答なし  
名前・生年月日はかろうじて答える

Ecs 2

運動  
M6

自発的な合目的動作あり  
命令に対しては、やや時間がかかるものの従える

A-9

## 124 目を開けられそうになったら強く閉眼

## 想定

24歳 女性

職場で上司から叱られている最中にくずれるようにして倒れた。呼びかけに反応がないため救急要請。

既往歴は不明。

## バイタルサイン

心拍数	80
血圧	118/76
SpO <sub>2</sub>	100
呼吸数	20

## 患者所見

閉眼している。評価者が強制的に目を開けようとする、抵抗し強く目を閉じようとする(その結果、白眼しか見えない)痛み刺激をされたときだけ、うなり声と逃避反応。患者自身の手を顔の前にやって落下させても、顔をよけて落ちる。「故意に瞬目させる必要はありません！」自然に目を閉じていれば、瞬目がでるはずです。

Jcs

200?

開眼  
E1

痛み刺激にも開眼しない  
(閉眼しながらも、瞬目はみとれる)  
用手的に開眼させると、抵抗して強くまぶたを閉じようとする

Gcs

E1V2M4

言語  
V2

痛み刺激に対して、うなり声をだす

Ecs

2

運動  
M4

命令には従わない 痛み刺激には顔をしかめつつ  
上下肢は「脇を開けて」サッと引っ込める  
胸骨や顔面に対しての痛み刺激で顔や体幹を少し動かす

A-10

## 214 麻痺なし

## 想定

68歳 女性

家事をしていたら突然の頭痛が出現した。

頭痛は過去感じたことがないほど強いものであったと言っていた。

その後一度嘔吐して、眠り込んだという。

2年前に高血圧を指摘されたが未治療。

## バイタルサイン

心拍数	100
血圧	200/120
SpO <sub>2</sub>	98
呼吸数	14

## 患者所見

刺激がなければじっとしている。痛み刺激でかろうじて開眼し、逃避反応するのみ。

Jcs 30

開眼  
E2痛み刺激でかろうじて開眼する  
(刺激がなくなると15秒以内に目を閉じる)

Gcs E2V1M4

言語  
V1

痛み刺激にも発声しない

Ecs 20

運動  
M4命令には従わない 痛み刺激には顔をしかめつつ  
四肢の痛み刺激で引っ込める  
胸骨や顔面に対しての痛み刺激で顔や体幹を少し動かす